

業務改善助成金 業種別設備導入事例

『業務改善助成金』は、生産性を向上させ、「事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）」の引上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する助成金です。



事業場内最低賃金を一定額以上引き上げ、設備投資（機械設備、コンサルティング導入や人材育成・教育訓練）などを行った場合に、その費用の一部を助成します。

導入事例	ハード面		ソフト面	
	業種を問わず導入されるもの	業種特有のもの	システム関係	人材育成その他業種特有のもの
宿泊業 飲食サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・POSレジ ・洗浄機 ・包装機 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍冷蔵庫 ・食券機 ・調理器具 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客管理システム ・給与システム ・オーダーシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存設備の増設（レイアウト変更）
卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・POSレジ ・フォークリフト ・包装機 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍冷蔵庫 ・調理器具 ・精米機 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客管理システム ・受発注機能付ホームページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・コンサルタント
生活関連サービス業・娯楽業	<ul style="list-style-type: none"> ・POSレジ ・洗浄機 ・包装機 	<ul style="list-style-type: none"> ・美容器具 ・シャンプーユニット ・洗濯・乾燥機 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客管理システム ・経営ソフト ・オーダーシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフト ・洗浄機 ・包装機 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍冷蔵庫 ・調理器具 ・ミシン 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客管理システム ・原価管理システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存設備の増設（レイアウト変更）
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・POSレジ ・洗浄機 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉車両 ・歯科用チェアユニット ・施術・医療ベッド 	<ul style="list-style-type: none"> ・受発注機能付ホームページ ・診療予約システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存設備の増設（レイアウト変更） ・登園降園受付管理システム
運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフト ・洗浄機 	<ul style="list-style-type: none"> ・特種用途自動車（運搬用冷凍車） 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客管理システム ・経営管理システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・配車システム（トラック・タクシー）

◎ 事例 6

専門家の業務フロー見直しによる顧客回転率の向上

【所在地】滋賀県

【従業員数】5～9人

【事業の種類】飲食業

接客の業務フロー（オペレーションマニュアル）がないために接客の質の均一化ができず、質の高い接客が維持できていませんでした。また、店長が新人教育に充てる時間が長期化していました。そこで、助成金を活用して専門家に業務フローの見直しを依頼して実施しました。



従業員によって接客の仕方がばらばらで、教育するのも負担

店長



接客の均一化、新人教育の負担減を目的に専門家への相談を決定

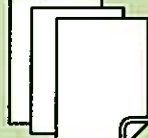
社長

<導入前>



マニュアルによって接客の質が向上、注文から提供までの時間が10%短縮

<導入後>



評価に応じて段階的に昇給していく賃金制度を導入して従業員のモチベーションを向上

- マニュアル化によって質及び業務効率が上がり顧客回転率が増加、店長の負担軽減によってマネジメントに注力できる体制を構築
- 業務効率の改善によって生産性が向上し、2人の従業員の時間給（最低賃金）を40円引き上げた。さらに、収益性が向上し、正社員の昇給を実施した。

助成金
活用の
ポイント

専門家のコンサルティング受けることで、すべての従業員が一定水準以上の接客を行うことが可能となった。

業務改善

事例 4 コンサルタントの現場改善活動の導入による作業効率の改善

企業概要

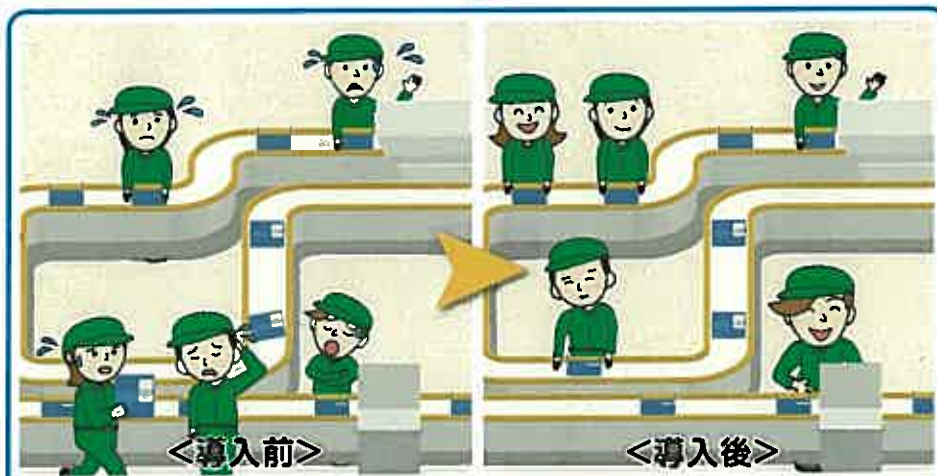
【所在地】福井県 【従業員数】24人

【事業内容】紙管・紙製容器製造業

【課題と対応】作業方法に無駄が多く、作業効率の改善や社員の意識改革を検討してきた。

作業効率が悪いため、業務の繁閑の調整も難しく、受注機会の逸失や従業員の残業等が発生している状況でした。そこで、助成金を活用して製造業専門コンサルタントによる現場改善活動を導入しました。

工場の作業効率を上げたい



月の機械1台あたりの段取り時間が目標に対して25%短縮、後始末時間は33%短縮した。



取締役

<独自の工夫>

社内の他工場との会議を共同で開催することで、好事例や改善内容の共有化を図り、課題解決に取り組んでいる。

実施内容

製造業専門コンサルタントの指導により、数名単位のチームリーダー中心の現場改善活動で作業の効率化を行い、また、社長等出席の設備修繕・人事等の課題を解決する会議を行った結果、生産量が増え、収益が上がった。

成果

作業の工程を見直し、効率を上げることで生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を42円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のきっかけ



取締役自らが各種助成金をリサーチする中で、HPで本助成金を発見。